

かわさきチャレンジ・3Rニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。



かわさき3R推進キャラクター
かわるん

第27号

平成27年3月発行

住民組織団体のごみ減量等の取組についてご紹介します

町内会・自治会などの住民組織団体から推薦をいただいた廃棄物減量指導員は、「地域におけるボランティアリーダー」として、また「市と市民のパイプ役」として活動しています。

廃棄物減量指導員が中心となって行っている、ごみの減量やまち美化など、住民組織団体が独自に行っている地域での取組をいくつかご紹介します。

①ごみの減量・リサイクルに関する活動

- 資源集団回収の回収品目・頻度を増やした。
- 市の生ごみリサイクル活動助成制度を活用している。

②ごみの分別排出に関する活動

- 防火・防犯パトロール時に自治会内の集積所を点検している。
- ごみの分別と排出マナーに関する看板・チラシを独自に作成し、自治会内で貼付・回覧している。
- 排出マナーについて集積所の利用者同士で確認し合っている。
- ごみ集積所の清掃・管理を自治会員が輪番で行うことにより、ごみの減量、まちの美化に関する意識を高めることができている。

③美化活動・その他

- 自治会独自の清掃美化活動を実施しているためか、ごみの不法投棄も減ってきている。
- 集積所にカラスよけネットを設置し、ごみの散乱防止に役立っている。
- 集積所を清掃するためのごみ袋・清掃用具を購入した。



幸区・河原町2号館自治会の清掃活動



キレイクン

スプレー缶などは中身を使い切ってから排出してください

昨年11月にごみ収集車の火災事故が発生しました。発火原因は中身が残存したカセット式ガスボンベと考えられます。

中身の入っているスプレー缶・カセット式ガスボンベなどは、中身を安全に抜くために工夫されたキャップなどを利用し、火気のない屋外で必ず中身を使い切り、空き缶として出してください。

※ 穴を開ける必要はありません。



発火原因と考えられるカセット式ガスボンベ

資源集団回収を
実施していない地域の皆様へ

資源集団回収を始めませんか?

新聞紙・雑誌・段ボールなどの古紙類や古着などは、大切な資源です。資源集団回収を始めて、大切な資源をリサイクルしましょう!

資源集団回収を始めると、こんな良いことがあります

- ◎今までごみ集積所に出されていた紙・布・びん類等がリサイクルされ、資源として有効利用されます。
- ◎奨励金を受けることができます。(回収量1kgあたり3円)
- ◎地域のつながりを深めることができます。
- ◎ごみと資源物の分別やリサイクル等に対する関心が高まり、ごみ減量につながります。

どんな団体が登録できるの?

町内会・自治会・学校PTA・マンション管理組合などの、市民で組織される団体

何を回収できるの?

品目・出し方(例) ※回収業者によって取り扱う品目が異なります。

紙類

※全て、ひもでしばって出してください。



新聞



段ボール



雑誌



牛乳パック

牛乳パックは開いて洗って
乾かして出してください。

布類

※洗濯し、乾いているものを
透明・半透明の袋などに入れて
出してください。



びん類

※キャップをはずし、
中を水洗いして出してください。



一升びんやビールびんなどの
リターナブルびんのことです。

資源集団回収についての相談先

- 南部生活環境事業所【大師・田島支所管内】・・・電話(266)5747
- 川崎生活環境事業所【川崎区の一部、幸区】・・・電話(541)2043
- 中原生活環境事業所【中原区】・・・電話(411)9220
- 宮前生活環境事業所【高津区、宮前区】・・・電話(866)9131
- 多摩生活環境事業所【多摩区、麻生区】・・・電話(933)4111



資源集団回収
 実施団体の皆様へ

～資源集団回収拡充のお願い～ 回収場所・回収頻度を増やしませんか？

資源集団回収は、市民・事業者・行政のパートナーシップで実施されており、ごみ減量・リサイクルの推進に大きな成果をあげていますが、資源集団回収の回収場所や回収頻度の少ない地域では、資源化物がやむを得ず普通ごみとして排出されている状況があります。

川崎市では、普通ごみとして排出される資源化物をできる限り減らすため、実施団体の皆さまや回収業者の方々に次の働きかけを行っていきます。

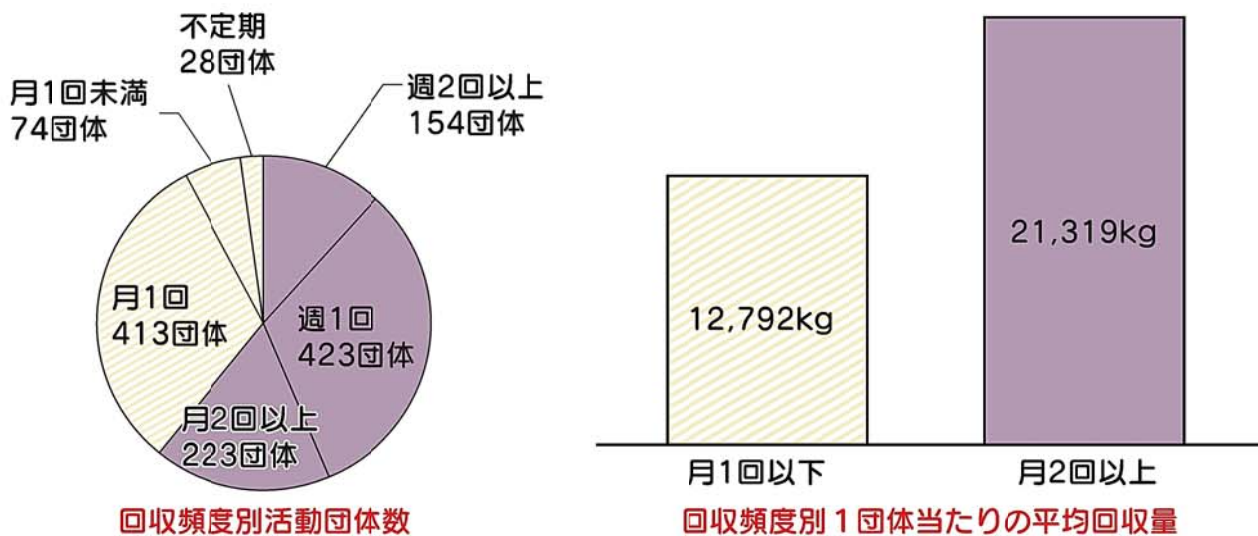
その1・・・回収場所の増加

その2・・・回収頻度の増加(月2回以上の実施を目指す。)

【回収場所・回収頻度を増やすとこんなにメリットがあります!】

- ☆ ごみの減量・リサイクルが推進されます。
- ☆ 回収場所・頻度を増やすと、利便性や認知度が向上し、さらに回収量が増加します。
- ☆ 回収量が増加すると、奨励金が増加し地域の清掃活動や団体運営費に活用できます。
- ☆ 回収頻度を増やすと、家の中で資源化物を保管する期間が短くなります。

【参考】平成26年前期 資源集団回収実績(市全体)



回収頻度別活動団体数
 ※奨励金未申請団体を含む

回収頻度別1団体当たりの平均回収量

回収場所と回収頻度を増やしたいときは、実施団体の役員や回収業者に相談してみましょう!

回収場所・頻度を増やしたときは、変更届の提出が必要となりますので、生活環境事業所にご連絡ください。



回収量の増加には、回収場所・回収日時・回収品目を周知することも効果的です!! (回覧板による周知、看板の設置など)

資源集団回収事業に関するお問い合わせは環境局減量推進課まで 【電話 200-2579】

生ごみリサイクル講習会開催のお知らせ

生ごみリサイクル講習会(ダンボールコンポストによる入門講座の募集)

ダンボールコンポストを用いて、生ごみを堆肥にリサイクルするための手法を学びます。生ごみのリサイクルに関心のある方、これから取り組んでみたい方におすすめです。入門講座とフォロー講座の連続講座になりますが、今回は入門講座の募集です(フォロー講座は5月中旬開催予定)。



講習会の様子

- 日 時:平成27年3月17日(火)午後2時～4時
 - 会 場:麻生市民館第1会議室
(小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分)
 - 内 容:ダンボールコンポストによる生ごみリサイクルの手法の紹介
 - 定 員:30名(先着順)
 - 申込期間:平成27年2月25日(水)～3月13日(金)
 - 申込方法:電話・FAXまたは市ホームページ
- 市ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045424.html>

橘処理センター休止・3処理センター体制へ

本市の廃棄物処理施設のひとつである橘処理センター(高津区新作)は、稼働から40年が経過し、老朽化が進行しているため、建替工事を行います。

このため、橘処理センターのごみ焼却処理施設は、平成26年度末で稼働を休止し、粗大ごみ処理施設は、平成27年度末で稼働を休止します。

その後、約10年かけて、既存の橘処理センターの解体や新たな処理施設の建設工事を実施していきます。

現在、浮島・堤根・橘・王禅寺の4つの処理センターの敷地を有効活用し、通常3つの施設を稼働し、残り1つの施設を休止又は建設中とする「3処理センター体制」に平成27年度から移行します。



橘処理センター

ごみ相談窓口について

資源物とごみに関する相談窓口として、区役所、支所でごみ相談窓口を開設しています。(開設時間:午前9時～11時)

開設場所	開設日
大師支所	毎月第4金曜日
田島支所	毎月第3金曜日
幸区役所	毎月第2・4土曜日
中原区役所	毎月第4土曜日

開設場所	開設日
高津区役所	毎月第4土曜日
宮前区役所	
多摩区役所	
麻生区役所	



ごみ相談窓口の様子

編集後記 年間のごみ焼却量が平成27年度に現行の一般廃棄物処理基本計画の目標値を下回る見込みとなったため、平成27年4月から4処理センターから3処理センター体制へ移行します。これも市民の皆様のごみの減量化・資源化の取組のおかげです。

編集・発行
 〒210-8577(住所はなくても届きます)
 川崎市環境局減量推進課普及広報係
 電話:044(200)2580 FAX:044(200)3923
 電子メール:30genryo@city.kawasaki.jp